



第1回 東海・東南海・南海地震津波研究会 議事次第

テーマ:「東海・東南海・南海地震津波災害を見据えた近畿圏の総合的な防災対策を考える」

日時:平成19年4月18日(水) 午後5時～7時

場所:トーコーシティホテル梅田 蘭の間

大阪市北区南森町1-3-19 (Tel:06-6363-1662, Fax:06-6363-5078)

内容:

第1回目の本研究会では、今後の研究活動のあり方を考える第一歩として、人と防災未来センター<文科省「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」、京都大学防災研究所の委託研究>で実施された「被害低減のための全体的な戦略計画策定手法の開発―地域社会の防災力の向上を目指した自治体の防災プログラムの開発と普及―」の成果をもとに以下のような課題について検討したいと考えております。

- ① 近畿圏における広域連携のあり方:危機管理システムの標準化、情報システムのあり方 etc.
- ② 中山間地域の総合的な防災のあり方:中山間地域の支援のあり方(ロジスティクス)、中山間地域の将来像、道路閉塞 etc.
- ③ 要援護者を含めた津波避難:総合的な命を守るための防災のあり方、ハザード情報の推定・提供 etc.
- ④ 50年後の社会を見据えた復旧・復興も含めた地域のあり方:地域の総合計画、東海・東南海・南海地震の時間差発生時の対応、今後の社会を見据えた防災・社会基盤整備のあり方 etc.
- ⑤ その他

また、上記の検討成果、さらには本研究会のこれまでの活動成果を踏まえ、この研究会で今後検討すべき課題についての議論を行います。

プログラム:

- (1) ごあいさつ 河田恵昭(CDR理事長、京都大学防災研究所巨大災害研究センター長・教授)
- (2) 東海・東南海・南海地震による被害低減のための戦略計画

発表:

- ①戦略計画策定の経緯とその概要

越山健治(CDR企画運営委員会委員、人と防災未来センター・研究主幹)

- ②中山間地域や中小都市の再生を視野に入れた防災のあり方

近藤伸也(人と防災未来センター・専任研究員)

- (3) 私が研究会に期待する事・私が研究会に貢献できる事

(皆さんのお考えをお聞かせいただきます(アンケート用紙に記入、退室時回収します))

(4) ディスカッション：

司会：牧 紀男（本研究会座長、京都大学防災研究所助教授）

議題：今後の研究課題、活動方針について

- ① 近畿圏における広域連携のあり方：危機管理システムの標準化、情報システムのあり方 etc.
- ② 中山間地域の総合的な防災のあり方：中山間地域の支援のあり方（ロジスティクス）、中山間地域の将来像、道路閉塞 etc.
- ③ 要援護者を含めた津波避難：総合的な命を守るための防災のあり方、ハザード情報の推定・提供 etc.
- ④ 50年後の社会を見据えた復旧・復興も含めた地域のあり方：地域の総合計画、東海・東南海・南海地震の時間差発生時の対応、今後の社会を見据えた防災・社会基盤整備のあり方 etc.